

九州大学 | 工学部 | 電気情報工学科 計算機工学コース
 | システム情報科学府 | 情報理工学専攻情報アーキテクチャ・セキュリティ
 ティコース
 カリキュラム・マップ

凡例

科目区分	基礎教育 必修	基礎教育 選択必修	工学部共通	学科群必修	学科群選択	学科必修	学科選択	コース 必修	コース 選択推奨	コース 選択	修士 コア科目	修士アドバンス ト科目	修士 講究科目
(再掲は薄色 表示)	基礎教育 必修	基礎教育 選択必修	工学部共通	学科群必修	学科群選択	学科必修	学科選択	コース 必修	コース 選択推奨	コース 選択	修士 コア科目	修士アドバンス ト科目	修士 講究科目

学年	学期	科目	1年生				2年生				3年生				4年生			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
実践 Engineering & Practice		工学部共通教育 (工学部で共通の学修目標)・基礎教育	学士課程 (電気情報工学科計算機工学コース)															
		学科群共通教育 (学科内3コースで共通の学修目標)	修士課程 (情報理工学専攻情報アーキテクチャ・セキュリティ)															
		学士・修士一貫型専攻教育 (学科 (コース)・専攻 (コース)ごとの特徴を表す学修目標)	博士後期課程 (情報理工学専攻)															
			D-4 技術的な事項に関する意見交換を技術者および非技術者と行うことができる。															
実践 Engineering & Practice		D-3. 必要なデータの収集と解釈を行い、適切な意思決定を行うことができる。	D-3 自身の研究内容を社会実践する知識や技術を有する。															
		D-2. 工学上の問題を、解決に有用な理論や実践とそれらの限界を理解した上で解決することができる。	D-2 実践した際の限界や影響、効果などを分析し、新たな問題発見と解決策を提示できる。															
		D-1. 技術が社会に及ぼす影響を常に考慮し、社会に対する責任と倫理観を持つ。	D-1 技術が社会に及ぼす影響を常に考慮し、社会に対する責任と倫理観を持つ。															
			D-4 問題の発見・定式化・解決を論理的・自主的に行う姿勢を有し、知識、技術を組み合わせて問題解決に取り組みながら、技術的な事項に関する意見交換を技術者および非技術者と行うことができる。															
実践 Engineering & Practice			文系ディプロン科目															
			文系ディプロン科目															
			電気情報工学セミナーA															
			電気情報工学セミナーB															
実践 Engineering & Practice			技術表現法I															
			技術表現法II															
			電気情報工学卒業研究															
			電気情報工学卒業研究															
実践 Engineering & Practice			データサイエンス序論															
			電気情報工学実習															
			電気情報工学卒業研究															
			電気情報工学卒業研究															
実践 Engineering & Practice			サイバーセキュリティ基礎論															
			工学倫理															
			基礎PBL I															
			基礎PBL II															
実践 Engineering & Practice			電気情報工学卒業研究															
			電気情報工学卒業研究															
			電気情報工学卒業研究															
			電気情報工学卒業研究															
実践 Engineering & Practice			学修目標															
			電気情報工学卒業研究															
			電気情報工学卒業研究															
評価・創造 Engineering & Design		C-2-2. 社会の課題解決に有用な電気情報工学分野技術の方向性を示唆することができる。	C-2-2. 最先端の研究動向を理解し、自身の研究を適切に説明できる。															
		C-2-1. 電気情報工学分野の装置やソフトウェアについて、指定された要求を満たす設計に自身の知識と理解を活用することができる。	C-2-1. 情報アーキテクチャやセキュリティ分野に関して、自ら研究計画を立案し、研究を主体的に実施できる。															
		C-1-4. 実験あるいは数値実験を適切に設計して実施し、得られたデータを解釈して結論を導くことができる。	C-1-4. 高度情報化社会の実現に向けて、情報理工学分野の知識や技術を組み合わせて実践的な活用ができる。															
		C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的な解析とモデリングの方法を理解し、その分野に関する問題の発見と解決を行うことができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。															
評価・創造 Engineering & Design			先端技術入門A															
			先端技術入門B															
			工学概論															
			電気情報工学セミナーA															
評価・創造 Engineering & Design			電気情報工学入門															
			電気情報工学入門 (VI群)															
			電気情報工学セミナーB															
			電気情報工学卒業研究															
評価・創造 Engineering & Design			プログラミング演習I															
			データ構造とアルゴリズム演習															
			電気情報工学実験III															
			電気情報工学卒業研究															
評価・創造 Engineering & Design			電気情報工学基礎実験															
			電気情報工学実験I															
			電気情報工学実験II															
			電気情報工学卒業研究															
評価・創造 Engineering & Design			基礎PBL I															
			基礎PBL II															
			電気情報工学卒業研究															
			電気情報工学卒業研究															
通用・分析 Engineering & Analysis		C-1-4. 実験あるいは数値実験を適切に設計して実施し、得られたデータを解釈して結論を導くことができる。	C-1-4. 実験あるいは数値実験を適切に設計して実施し、得られたデータを解釈して結論を導くことができる。															
		C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的な解析とモデリングの方法を理解し、その分野に関する問題の発見と解決を行うことができる。	C-1-3. 情報アーキテクチャやセキュリティ分野に関する専門的基礎知識を有し、その分野に関する問題の発見と解決を行うことができる。															
			C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。															
			C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的な解析とモデリングの方法を理解し、その分野に関する問題の発見と解決を行うことができる。															
通用・分析 Engineering & Analysis			プログラミング演習I															
			データ構造とアルゴリズム演習															
			電気情報工学実験III															
			電気情報工学卒業研究															
通用・分析 Engineering & Analysis			電気情報工学基礎実験															
			電気情報工学実験I															
			電気情報工学実験II															
			電気情報工学卒業研究															
通用・分析 Engineering & Analysis			基礎PBL I															
			基礎PBL II															
			電気情報工学卒業研究															
			電気情報工学卒業研究															
通用・分析 Engineering & Analysis			オペレーティングシステムI															
			オペレーティングシステムII															
			集積回路工学演習I															
			集積回路工学演習II															
通用・分析 Engineering & Analysis			データベースI															
			データベースII															
			数値計画法I															
			数値計画法II															
通用・分析 Engineering & Analysis			情報理論I															
			情報理論II															
			通信ネットワークI															
			通信ネットワークII															
通用・分析 Engineering & Analysis			デジタル信号処理I															
			デジタル信号処理II															
			通信方式I															
			通信方式II															
通用・分析 Engineering & Analysis			コンピュータアーキテクチャII															
			コンピュータアーキテクチャIII															
			コンピュータシステムI															
			コンピュータシステムII															
通用・分析 Engineering & Analysis			コンピュータシステムIII															
			コンピュータシステムIV															
			ソフトウェア工学I															
			ソフトウェア工学II															
通用・分析 Engineering & Analysis			分散システムI															
			分散システムII															
			プログラミング言語I															
			プログラミング言語II															
通用・分析 Engineering & Analysis			アルゴリズム論I															
			アルゴリズム論II															
			電気情報工学卒業研究															
			電気情報工学卒業研究															

Tuning	A-2. (協働) 様々な人々と議論を行って多面から問題を検討し、協働して問題解決にあたることができる。		A-2. (協働) 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。		A-2. (協働) 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。		学術英語・グローバルイシューズ				学術英語・スキルベース									
	A-1. (主体的な学び) 専門的知識と教養を元に、自ら問題を見出し批判的に吟味・検討するとともに、それを解決すべく自主的に学修を進めることができる。		A-1. (主体的な学び) 深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。		A-1. (主体的な学び) 情報理工学に関する最新の研究内容を習得し、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。		学術英語・アカデミックイシューズ	学術英語・プロジェクト1	学術英語・プロジェクト2	学術英語・テーマベース		電気情報工学セミナーA	電気情報工学セミナーB							
							健康・スポーツ科学演習	先端技術入門A	先端技術入門B											
							文系ディシプリン科目	文系ディシプリン科目												
							課題協学科目		高年次基礎教育科目		電気情報工学セミナーA	電気情報工学セミナーB								
									工学概論											
							電気情報工学入門	基礎教育セミナー		電気情報工学入門(VI群)	電気情報工学セミナーA	電気情報工学セミナーB								
学年							1年生		2年生			3年生				4年生				
学士課程の時期区分							基盤													
アセスメント・プラン							学修目標達成度調査 (その1)													
							統合													

修士論文研究											情報理工学論議 I				情報理工学論議 II				国際インターンシップ				国際インターンシップ				国際インターンシップ			
システム情報科学実習											博士論文研究				ティーチング 演習 I	ティーチング 演習 II	博士論文研究				ティーチング 演習 I	ティーチング 演習 II	博士論文研究				ティーチング 演習 I	ティーチング 演習 II		
修士論文研究															先端プロジェ クト管理技法 I	先端プロジェ クト管理技法 II					先端プロジェ クト管理技法 I	先端プロジェ クト管理技法 II					先端プロジェ クト管理技法 I	先端プロジェ クト管理技法 II		
情報理工学統制											情報理工学表示				修士論文研究				情報理工学特別研究 II				情報理工学特別研究 II							
情報理工学演習																			情報理工学特別研究 I				博士論文研究							
応域科目											応域科目				応域科目				応域科目				応域科目				応域科目			
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q					
M1									M2						D1			D2			D3									
研究推進基礎			発展											統合																
学修目標の達成度評価 (その 2)			学修目標達成度調査 (その 3)						学修目標達成度調査 (その 4)						アドバイザリ委員会において学修目標の達成度を評価する															
			Curriculum Inventory 評価																											

九州大学 | 工学部 | 電気情報工学科 計算機工学コース
| システム情報科学府 | 情報理工学専攻データサイエンスコース
カリキュラム・マップ

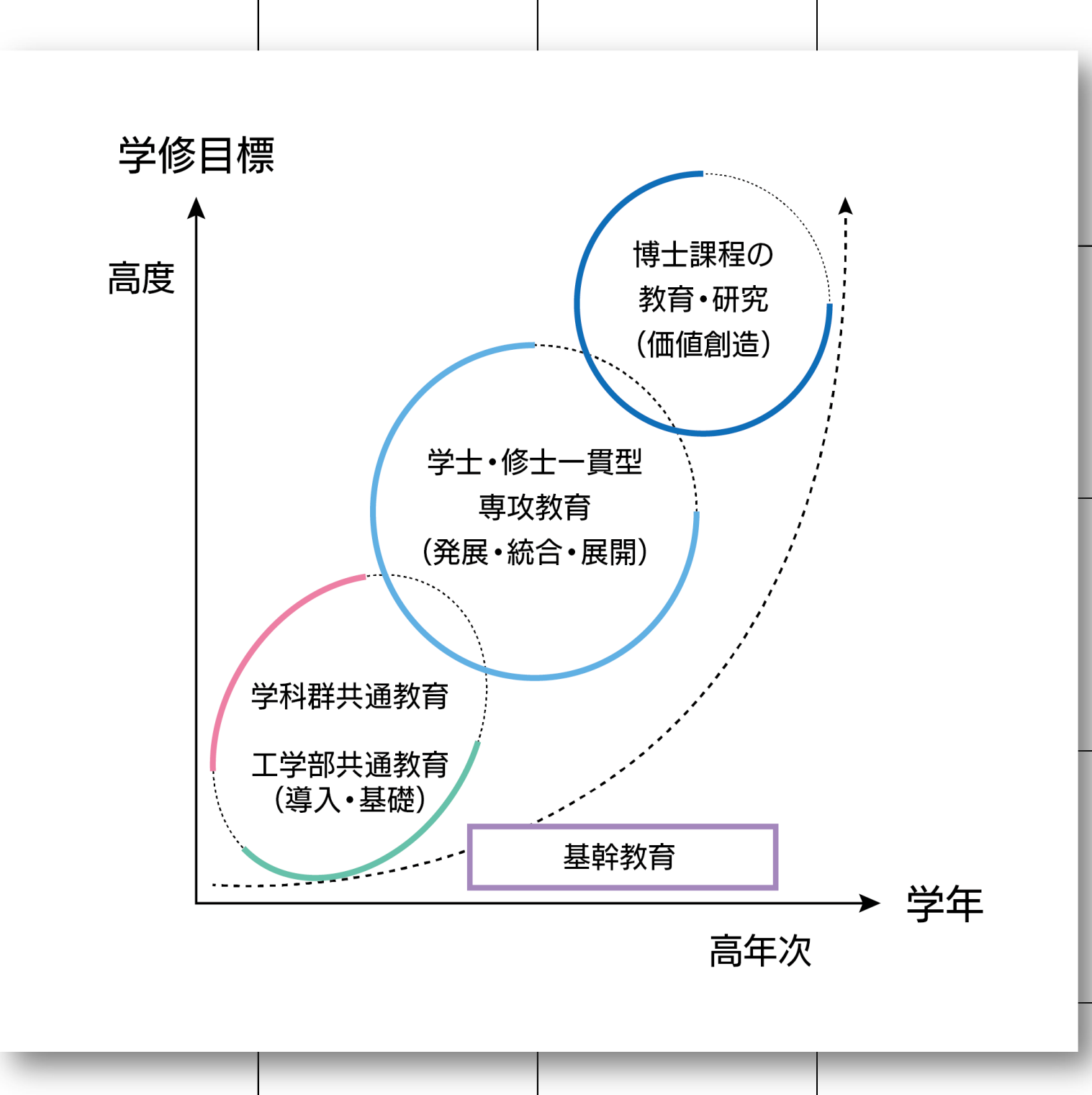
凡例

科目区分

基礎教育 必修	基礎教育 選択必修	工学部共通	学科群必修	学科群選択	学科必修	学科選択	コース 必修	コース 選択推奨	コース 選択	修士 コア科目
基礎教育 必修	基礎教育 選択必修	工学部共通	学科群必修	学科群選択	学科必修	学科選択	コース 必修	コース 選択推奨	コース 選択	修士 コア科目

(再掲は薄色表示)

Tuning				学士課程 (電気情報工学科計算機工学コース)				修士課程 (情報理工学専攻データサイエンスコース)				博士後期課程 (情報理工学専攻)				1年生				2年生				3年生															
				工学部共通教育 (工学部で共通の学修目標)・基礎教育				学科群共通教育 (学科内3コースで共通の学修目標)				学士・修士一貫型専攻教育 (学科 (コース)・専攻 (コース) ごとの特徴を表す学修目標)				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q												
△	実践 Engineering & Practice			D-4. 技術的な事項に関する意見交換を技術者および非技術者と行うことができる。	D-4. 技術的な事項に関する意見交換を技術者および非技術者と行うことができる。	D-4. 技術的な事項に関する意見交換を技術者および非技術者と行うことができる。	D-4. 問題の発見・定式化・解決を論理的・自主的に行う姿勢を有し、知識、技術を組み合わせ問題解決に取り組みながら、技術的な事項に関する意見交換を技術者および非技術者と行うことができる。	文系ディシプリン科目				文系ディシプリン科目				電気情報工学セミナーA				電気情報工学セミナーB				技術表現法I				技術表現法II											
				D-3. 必要なデータの収集と解釈を行い、適切な意思決定を行うことができる。	D-3. 問題の発見・定式化・解決を論理的に自主的に行う姿勢を有し、知識、技術を組み合わせ問題解決に自主的に取り組むことができる。	D-3. 必要なデータの収集と解釈を行い、適切な意思決定を行うことができる。	データサイエンス序論																																
				D-3-1. 必要なデータの収集と解釈を行い、適切な意思決定を行うことができる。	D-3-2. 問題の発見・定式化・解決を論理的に自主的に行う姿勢を有し、知識、技術を組み合わせ問題解決に自主的に取り組むことができる。	D-3-1. 必要なデータの収集と解釈を行い、適切な意思決定を行うことができる。																																	
				D-1. 技術が社会に及ぼす影響を常に考慮し、社会に対する責任と倫理観を持つ。	D-2. 工学上の問題を、解決に有用な理論や実践とそれらの境界を理解した上で解決することができる。	D-1. 技術が社会に及ぼす影響を常に考慮し、社会に対する責任と倫理観を持つ。	D-2. 工学上の問題を、解決に有用な理論や実践とそれらの境界を理解した上で解決することができる。	D-1. 技術が社会に及ぼす影響を常に考慮し、社会に対する責任と倫理観を持つ。	D-2. 工学上の問題を、解決に有用な理論や実践とそれらの境界を理解した上で解決することができる。	D-1. 技術が社会に及ぼす影響を常に考慮し、社会に対する責任と倫理観を持つ。	D-2. 工学上の問題を、解決に有用な理論や実践とそれらの境界を理解した上で解決することができる。	サイバーセキュリティ基礎論	工学倫理	基礎PBL I				基礎PBL II				電気情報工学実習																	
△	評価・創造 Engineering & Design			C-2-2. 社会の課題解決に有用な電気情報工学分野技術の方向性を示唆することができる。	C-2-2. 社会の課題解決に有用なデータサイエンス領域の方向性を示唆できる。	C-2-2. 社会の課題解決に有用な情報理工学分野の方向性を示唆することができる。	C-2-2. 社会の課題解決に有用な情報理工学分野の方向性を示唆することができる。	先導技術入門A				先導技術入門B				工学概論				電気情報工学セミナーA				電気情報工学セミナーB															
				C-2-1. 電気情報工学分野の装置やソフトウェアについて、指定された要求を満たす設計に自身の知識と理解を活用することができる。	C-2-1. 電気情報工学分野の装置やソフトウェアについて、指定された要求を満たす設計に自身の知識と理解を活用することができる。	C-2-1. データ解析のためのプログラム実装において、指定された要求を満たす設計に自身の知識と理解を活用できる。	C-2-1. 高度情報化社会の実現に向けて、情報理工学分野の知識や技術を組み合わせ実践的な活用ができる。	電気情報工学入門				電気情報工学入門 (VITEP)				プログラミング演習I				データ構造とアルゴリズム演習				電気情報工学実験III															
				C-1-4. 実験あるいは数値実験を適切に設計して実施し、得られたデータを解釈して結論を導くことができる。	C-1-4. 実験あるいは数値実験を適切に設計して実施し、得られたデータを解釈して結論を導くことができる。	C-1-3. 様々な分野のデータ解析の問題に対し、効果的解析手法の選択ができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。									プログラミング演習I				データ構造とアルゴリズム演習				電気情報工学実験III															
				C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的な解析とモデリングの方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 様々な分野のデータ解析の問題に対し、効果的解析手法の選択ができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。									基礎PBL I				基礎PBL II																			
△	適用・分析 Engineering & Analysis			C-1-4. 実験あるいは数値実験を適切に設計して実施し、得られたデータを解釈して結論を導くことができる。	C-1-4. 実験あるいは数値実験を適切に設計して実施し、得られたデータを解釈して結論を導くことができる。	C-1-3. 様々な分野のデータ解析の問題に対し、効果的解析手法の選択ができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。									プログラミング演習I				データ構造とアルゴリズム演習				電気情報工学実験III															
				C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的な解析とモデリングの方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 様々な分野のデータ解析の問題に対し、効果的解析手法の選択ができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。									基礎PBL I				基礎PBL II																			
				C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的な解析とモデリングの方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 様々な分野のデータ解析の問題に対し、効果的解析手法の選択ができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。									データベースI				データベースII				数値計画法I				数値計画法II											
				C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的な解析とモデリングの方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 様々な分野のデータ解析の問題に対し、効果的解析手法の選択ができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。									情報理論I				情報理論II				通信ネットワークI				通信ネットワークII											
△				C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的な解析とモデリングの方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 様々な分野のデータ解析の問題に対し、効果的解析手法の選択ができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。									デジタル信号処理I				デジタル信号処理II				通信方式I				通信方式II											
				C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的な解析とモデリングの方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 様々な分野のデータ解析の問題に対し、効果的解析手法の選択ができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。									コンピュータアーキテクチャII				コンピュータアーキテクチャIII				コンピュータシステムI				コンピュータシステムII				コンピュータシステムIII				コンピュータシステムIV			
				C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的な解析とモデリングの方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 様々な分野のデータ解析の問題に対し、効果的解析手法の選択ができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。									データベースI				データベースII				数値計画法I				数値計画法II											
				C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的な解析とモデリングの方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 様々な分野のデータ解析の問題に対し、効果的解析手法の選択ができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。	C-1-3. 工学上の問題を解決するために、専門知識を活用して、理論的、実験的、数値的な解析方法を理解し実行することができる。									情報理論I				情報理論II				通信ネットワークI				通信ネットワークII											



主体的な学び・協働	Engineering Generic Skills	<p>A-3. 文章表現能力、口頭発表能力および討論能力を持って広く世界と交流し、効率的に情報を吸収・発信できる。</p> <p>A-2. (協働) 様々な人々と議論を行って多方向から問題を検討し、協働して問題解決にあたることことができる。</p> <p>A-1. (主体的な学び) 専門的知識と教養を元に、自ら問題を見出し批判的に吟味・検討するとともに、それを解決すべく自ら問い-課題を抽出し、解決を図ることができる。</p>	<p>A-3. 文章表現能力、口頭発表能力および討論能力を持って広く世界と交流し、効率的に情報を吸収・発信できる。</p> <p>A-2. (協働) 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることことができる。</p> <p>A-1. (主体的な学び) 深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することことができる。</p>	<p>B-1. システム情報科学の基礎となる知識を有し、説明できる。</p> <p>B-1-1. 情報理工学を先導するための幅広い基礎知識を習得することができる。</p>	<p>自然科学総合実験</p> <p>無機物質化学I</p> <p>図形科学I</p> <p>有機物質化学I</p> <p>電磁気学基礎</p> <p>電磁気学基礎演習</p> <p>電磁気学基礎演習(VI群)</p> <p>力学基礎</p> <p>熱力学基礎</p> <p>現代物理学基礎</p> <p>線形代数学I</p> <p>線形代数学II</p> <p>微分積分学I</p> <p>微分積分学II</p> <p>数学演習B</p>	論理回路	コンピュータアーキテクチャI	電磁気学I	電磁気学II	電磁気学III	電磁気学IV	制御工学AI	制御工学AII						
						プログラミング論				アナログ電子回路I	アナログ電子回路II	アナログ電子回路III	アナログ電子回路IV						
						データ構造とアルゴリズムI	データ構造とアルゴリズムII	回路理論III	回路理論IV	計測工学BI	計測工学BII	集積回路工学I	集積回路工学II						
								電子物性I	電子物性II	半導体の性質	トランジスタ基礎論	プラズマ工学I	プラズマ工学II						
						プログラミング演習II	プログラミング演習III	電磁波工学I	電磁波工学II	光エレクトロニクスI	光エレクトロニクスII								
						信号とシステムI	信号とシステムII	デジタル電子回路I	デジタル電子回路II	コンピュータシステム通論I	コンピュータシステム通論II								
						Tuning	工学部共通教育(工学部で共通の学修目標) <small>基礎教育</small>	学科群共通教育(学科群で共通の学修目標)	学士・修士一貫型専攻教育(学科・専攻ごとの特徴を表す学修目標)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
学年				1年生				2年生				3年生							
学士課程の時期区分				基盤															
アセスメント・プラン				学修目標達成度調査 (その1)															

修士アドバンス ト科目	修士 講究科目	修士 拡充科目	博士学府共通科 目	博士専攻科目	研究
修士アドバンス ト科目	修士 講究科目	修士 拡充科目	博士学府共通科 目	博士専攻科目	

4年生				M1				M2				D1				D2				D3											
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q								
電気情報工学卒業研究												情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)				情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)				情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)											
												情報理工学特別演習				情報理工学特別演習				情報理工学特別演習											
電気情報工学卒業研究				情報理工学研究I				情報理工学研究II				情報理工学特別演習				情報理工学特別演習				情報理工学特別演習											
				データサイエンス技法演習				修士論文研究				情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)				情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)				情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)											
電気情報工学卒業研究				修士論文研究				情報理工学特別講義				修士論文研究				情報理工学特別講義															
				電気電子工学特別講義				電気電子工学特別講義																							
				データサイエンス実習																											
												国際インターンシップ				国際インターンシップ				国際インターンシップ											
												修士論文研究				国際演示技法I 国際演示技法II				修士論文研究				国際演示技法I 国際演示技法II							
												知的財産技法I 知的財産技法II				知的財産技法I 知的財産技法II				知的財産技法I 知的財産技法II											
												ティーチング演習I ティーチング演習II				ティーチング演習I ティーチング演習II				ティーチング演習I ティーチング演習II											
												先端プロジェクト管理技法I 先端プロジェクト管理技法II				先端プロジェクト管理技法I 先端プロジェクト管理技法II				先端プロジェクト管理技法I 先端プロジェクト管理技法II											
												情報理工学長期インターンシップ				情報理工学長期インターンシップ				情報理工学長期インターンシップ											
												情報理工学短期インターンシップ				情報理工学短期インターンシップ				情報理工学短期インターンシップ											
				修士論文研究				情報理工学研究				情報理工学長期インターンシップ				情報理工学長期インターンシップ				情報理工学長期インターンシップ											
												情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)				情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)				情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)											
電気情報工学卒業研究				情報理工学演習				修士論文研究				情報理工学短期インターンシップ				情報理工学短期インターンシップ				情報理工学短期インターンシップ											
												情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)				情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)				情報工学専攻特別講究科目 (全20科目)											
												修士論文研究																			
				計算論I				計算論II				グラフ理論・組み合わせ論I				グラフ理論・組み合わせ論II				修士論文研究				3次元コンピュータグラフィックス論I				3次元コンピュータグラフィックス論II			
				アルゴリズムとデータ構造I				アルゴリズムとデータ構造II				機械学習特論I				機械学習特論II				情報理工学論述I				情報理工学論述II							
				情報論的学習理論I				情報論的学習理論II				修士論文研究																			
				データマイニング特論I				データマイニング特論II																							

電気電子工学設計I 電気電子工学設計II																											
				先履情報社会学特選II				修士論文研究				修士論文研究				国際演示技法I		国際演示技法II		国際演示技法I		国際演示技法II					
												知的財産技法I		知的財産技法II		知的財産技法I		知的財産技法II		知的財産技法I		知的財産技法II					
ICT社会基盤デザイン特論												情報理工学特別研究I															
情報デバイス・システム分野拡充科目				情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目									
エネルギーデバイス・システム分野拡充科目				エネルギーデバイス・システム分野拡充科目		エネルギーデバイス・システム分野拡充科目		エネルギーデバイス・システム分野拡充科目		エネルギーデバイス・システム分野拡充科目		エネルギーデバイス・システム分野拡充科目		エネルギーデバイス・システム分野拡充科目		エネルギーデバイス・システム分野拡充科目		エネルギーデバイス・システム分野拡充科目									
修士論文研究																											
修士論文研究								情報理工学論議I				情報理工学論議II				国際インターンシップ				国際インターンシップ				国際インターンシップ			
システム情報科学実習								修士論文研究								ティーチング演習I		ティーチング演習II		ティーチング演習I		ティーチング演習II		ティーチング演習I		ティーチング演習II	
修士論文研究																先端プロジェクト管理技法I		先端プロジェクト管理技法II		先端プロジェクト管理技法I		先端プロジェクト管理技法II		先端プロジェクト管理技法I		先端プロジェクト管理技法II	
												情報理工学特別研究II				情報理工学特別研究II											
情報理工学読解				情報理工学演習				修士論文研究				情報理工学特別研究I															
広域科目		広域科目		広域科目		広域科目		広域科目		広域科目		広域科目		広域科目		広域科目		広域科目		広域科目		広域科目					
情報理工学演習								修士論文研究																			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q				
4年生				M1				M2				D1				D2				D3							
統合				研究推進基礎				発展				統合				統合				統合							
学修目標の達成度評価(その2)				学修目標達成度調査(その3)								学修目標達成度調査(その4) Curriculum Inventory評価								アドバイザー委員会において学修目標の達成度を評価する							

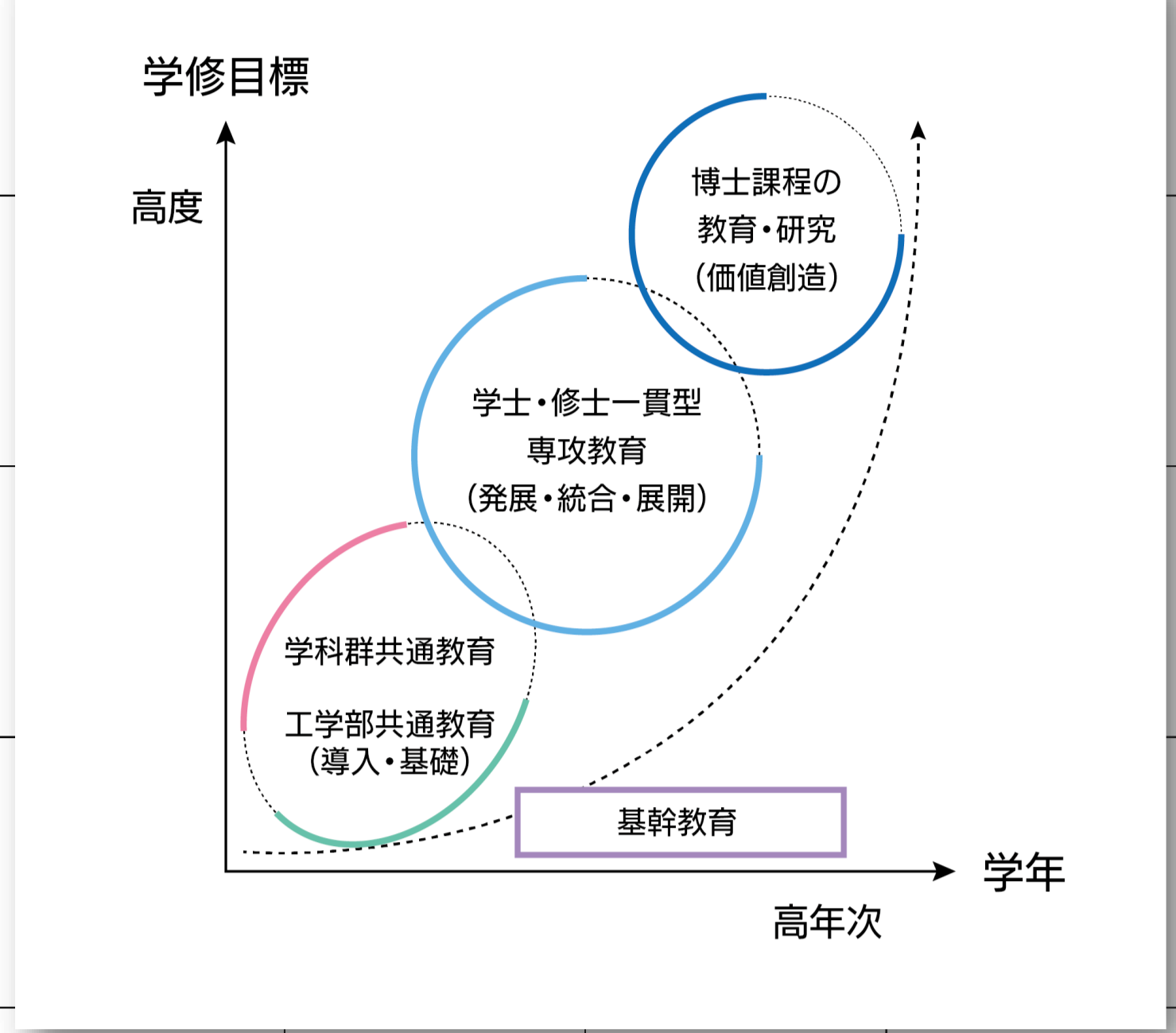
九州大学 | 工学部 | 電気情報工学科 計算機工学コース
 | システム情報科学府 | 情報理工学専攻AI・ロボティクスコース
 カリキュラム・マップ

凡例

科目区分

基礎教育 必修	基礎教育 選択必修	工学部共通	学科群必修	学科群選択	学科必修	学科選択	コース 必修	コース 選択推奨	コース 選択	修士 コア科目	修士アドバ ンス科目	修士 講究科目
(再掲は薄色 表示)	基礎教育 必修	工学部共通	学科群必修	学科群選択	学科必修	学科選択	コース 必修	コース 選択推奨	コース 選択	修士 コア科目	修士アドバ ンス科目	修士 講究科目

Tuning		学士課程 (電気情報工学科計算機工学コース)			修士課程 (情報理工学専攻 AI・ロボティクスコース)		博士後期課程 (情報理工学専攻)		1年生				2年生				3年生				4年生					
		工学部共通教育 (工学部で共通の学修目標)・ 基礎教育	学科群共通教育 (学科内3 コースで共通の学修目標)	学士・修士一貫型専攻教育 (学科 (コース)・専攻 (コース) ごと の特徴を表す学修目標)					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q				
実践 Engineering & Practice		D-4. 技術的な事項に関する意見 交換を技術者および非技術者と 行うことができる。	D-4. 技術的な事項に関する意見 交換を技術者および非技術者と 行うことができる。	D-3-2. 問題の発見・定式 化・解決を論理的に自主的に 行う姿勢を有し、知識、技術 を組み合わせて問題解決に自 主的に取り組むことができる。	D-4. 問題の発見・定式化・解決 を論理的・自主的に行う姿勢 を有し、知識、技術を組み合 わせて問題解決に取り組みな がら、技術的な事項に関する 意見交換を技術者および非 技術者を行うことができる。	文系ディシプリン科目	文系ディシプリン科目																			
		D-3. 必要なデータの収集と解釈 を行い、適切な意思決定を行 うことができる。																								
		D-2. 工学上の問題を、解決に 有用な理論や実践とそれらの 境界を理解した上で解決する ことができる。																								
		D-1. 技術が社会に及ぼす影響 を常に考慮し、社会に対する 責任と倫理観を持つ。																								
評価・ 創造 Engineering & Design		C-2-2. 社会の課題解決に有用な 電気情報工学分野技術の方向 性を示唆することができる。	C-2-2. 社会の課題解決に有用な 電気情報工学分野技術の方向 性を示唆することができる。	C-2-2 社会の課題解決に有用な 情報理工学分野の方向性を 示唆することができる。その 研究分野において指導的役 割を果たすことができる。	C-2-2 社会の課題解決に有用な 情報理工学分野の方向性を 示唆することができる。その 研究分野において指導的役 割を果たすことができる。																					
		C-2-1. 電気情報工学分野の装置 やソフトウェアについて、指 定された要求を満たす設計に 自身の知識と理解を活用する ことができる。	C-2-1. 電気情報工学分野の装置 やソフトウェアについて、指 定された要求を満たす設計に 自身の知識と理解を活用する ことができる。	C-2-1. Cyber Physical System の実現に向けて、AI・ロボ ティクス分野の知識や技術 を組み合わせて実践的な活 用ができる。	C-2-1 高度情報化社会の実 現に向けて、情報理工学 分野の知識や技術を組み合 わせて実践的な活用がで きる。																					
		C-1-4. 実験あるいは数値実験を 適切に設計して実施し、得 られたデータを解釈して結 論を導くことができる。	C-1-4. 実験あるいは数値実験を 適切に設計して実施し、得 られたデータを解釈して結 論を導くことができる。	C-1-3 工学上の問題を解決 するために、AI・ロボティ クス分野の専門知識を 活用して、理論的、実験 的、数値的な解析方法を 理解し実行することができる。	C-1-3 工学上の問題を解決 するために、専門知識を 活用して、理論的、実験 的、数値的な解析方法を 理解し実行することがで きる。																					
		C-1-2. 電気情報工学分野の装置 やソフトウェアを解析し、そ の動作や原理を説明する ことができる。	C-1-2. 電気情報工学分野の装置 やソフトウェアを解析し、そ の動作や原理を説明する ことができる。	C-1-2 工学上の問題に 対して、AI・ロボティク ス分野の専門知識の 適用方法を説明できる。	C-1-2 工学上の問題に 対して、専門知識の 適用方法を説明できる。																					
適用・ 分析 Engineering & Analysis		C-1-3. 電気情報工学分野にお ける理論的、実験的、数 値的な解析とモデリング の方法を理解し、実行 することができる。	C-1-3. 電気情報工学分野にお ける理論的、実験的、数 値的な解析とモデリング の方法を理解し、実行 することができる。	C-1-3 工学上の問題を解決 するために、AI・ロボティ クス分野の専門知識を 活用して、理論的、実験 的、数値的な解析方法を 理解し実行することがで きる。	C-1-3 工学上の問題を解決 するために、専門知識を 活用して、理論的、実験 的、数値的な解析方法を 理解し実行することがで きる。																					
		C-1-1. 工学上の問題に 対して、AI・ロボティク ス分野の専門知識の 適用方法を説明できる。	C-1-1. 工学上の問題に 対して、AI・ロボティク ス分野の専門知識の 適用方法を説明できる。	C-1-1 工学上の問題に 対して、AI・ロボティク ス分野の専門知識の 適用方法を説明できる。	C-1-1 工学上の問題に 対して、専門知識の 適用方法を説明できる。																					
		C-1-2. 電気情報工学分野の装置 やソフトウェアを解析し、そ の動作や原理を説明する ことができる。	C-1-2. 電気情報工学分野の装置 やソフトウェアを解析し、そ の動作や原理を説明する ことができる。	C-1-2 工学上の問題に 対して、AI・ロボティク ス分野の専門知識の 適用方法を説明できる。	C-1-2 工学上の問題に 対して、専門知識の 適用方法を説明できる。																					
		C-1-4. 実験あるいは数値実験を 適切に設計して実施し、得 られたデータを解釈して結 論を導くことができる。	C-1-4. 実験あるいは数値実験を 適切に設計して実施し、得 られたデータを解釈して結 論を導くことができる。	C-1-3 工学上の問題を解決 するために、AI・ロボティ クス分野の専門知識を 活用して、理論的、実験 的、数値的な解析方法を 理解し実行することがで きる。	C-1-3 工学上の問題を解決 するために、専門知識を 活用して、理論的、実験 的、数値的な解析方法を 理解し実行することがで きる。																					



<p>A-1 (主体的な学び) 専門的知識と教養を元に、自ら問題を見出して批判的に吟味・検討するとともに、それを解決すべく自主的に学修を進めることができる。</p>	<p>A-1 (主体的な学び) 深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。</p>	<p>A-1 (主体的な学び) 情報工学に関する最新の研究内容を習得し、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。</p>	文系ディシプリン科目	文系ディシプリン科目																
			課題協科目	高年次基幹教育科目	電気情報工学セミナーA	電気情報工学セミナーB														
			電気情報工学入門	基幹教育セミナー			工学概論													
							電気情報工学入門(VIB)			電気情報工学セミナーA	電気情報工学セミナーB									
工学部共通教育 (工学部で共通の学修目標) 基幹教育	学科群共通教育 (学科群で共通の学修目標)	学士・修士一貫型専攻教育 (学科・専攻ごとの特徴を表す学修目標)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q				
学年			1年生				2年生				3年生				4年生					
学士課程の時期区分			基盤																統合	
アセスメント・プラン																			学修目標達成度調査 (その1)	

修士 拡充科目	博士学府共通 科目	博士専攻科目	研究
修士 拡充科目	博士学府共通 科目	博士専攻科目	

3Q		4Q		M1				M2				D1				D2				D3					
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
		修士論文研究						情報工学専攻特別講義科目（全20科目）						情報工学専攻特別講義科目（全20科目）				情報工学専攻特別講義科目（全20科目）							
								情報理工学特別演習						情報理工学特別演習				情報理工学特別演習							
		情報理工学研究I				情報理工学研究II				博士論文研究															
								情報理工学特別演習						情報理工学特別演習				情報理工学特別演習							
								情報工学専攻特別講義科目（全20科目）						情報工学専攻特別講義科目（全20科目）				情報工学専攻特別講義科目（全20科目）							
		博士論文研究																							
		修士論文研究		情報理工学特別講義		修士論文研究		情報理工学特別講義		国際インターンシップ				国際インターンシップ				国際インターンシップ							
				電気電子工学特別講義				電気電子工学特別講義		博士論文研究		国際演習技法 I II		博士論文研究		国際演習技法 I II		博士論文研究		国際演習技法 I II		国際演習技法 I II			
												知的財産技法 I II				知的財産技法 I II				知的財産技法 I II		知的財産技法 I II			
												ティーチング 演習 I II				ティーチング 演習 I II				ティーチング 演習 I II		ティーチング 演習 I II			
												先端プロジェ クト管理技法 I II				先端プロジェ クト管理技法 I II				先端プロジェ クト管理技法 I II		先端プロジェ クト管理技法 I II			
								情報理工学長期インターンシップ						情報理工学長期インターンシップ				情報理工学長期インターンシップ							
								情報理工学短期インターンシップ						情報理工学短期インターンシップ				情報理工学短期インターンシップ							
		修士論文研究						情報理工学研究						情報理工学長期インターンシップ				情報理工学長期インターンシップ							
								情報工学専攻特別講義科目（全20科目）						情報工学専攻特別講義科目（全20科目）				情報工学専攻特別講義科目（全20科目）							
		博士論文研究																							
		情報理工学演習				修士論文研究				情報理工学短期インターンシップ				情報理工学短期インターンシップ				情報理工学短期インターンシップ							
								情報工学専攻特別講義科目（全20科目）						情報工学専攻特別講義科目（全20科目）				情報工学専攻特別講義科目（全20科目）							
		博士論文研究																							
		アルゴリズム設計 演習I						アルゴリズム設計 演習II		心理物理学I		心理物理学II		修士論文研究				情報理工学特別研究 I				博士論文研究			

システム情報科学実習				博士論文研究				ティーチング 演習Ⅰ	ティーチング 演習Ⅱ	博士論文研究				ティーチング 演習Ⅰ	ティーチング 演習Ⅱ						
								先端プロジェ クト管理技法 Ⅰ	先端プロジェ クト管理技法 Ⅱ					先端プロジェ クト管理技法 Ⅰ	先端プロジェ クト管理技法 Ⅱ						
								情報理工学特別研究Ⅱ				情報理工学特別研究Ⅱ									
情報理工学読解				情報理工学演習				修士論文研究				情報理工学特別研究Ⅰ									
情報理工学演習																					
広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目														
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
M1				M2				D1				D2				D3					
研究推進基礎				発展				統合													
学修目標の達成度評価 (その2)		学修目標達成度調査 (その3)		学修目標達成度調査 (その4) Curriculum Inventory評価				アドバイザー委員会において学修目標の達成度を評価する													

九州大学 | 工学部 | 電気情報工学科 電子通信工学コース | システム情報科学府 | 電気電子工学専攻 情報デバイス・システムコース

凡例

Legend table with columns for subject categories: 基幹教育必修, 基幹教育選択必修, 工学部共通, 学科群必修, 学科選択, 学修必修, 学修選択, コース必修, コース選択推奨, コース選択, 修士コア科目, 修士アドバンス科目.

Main curriculum table with columns for years (1-4) and quarters (1Q-4Q). Rows include Tuning, 実践 (Engineering & Practice), 評価・創造 (Engineering & Design), 適用・分析 (Engineering & Analysis), and 知識・理解 (Basic & Engineering Sciences). Includes a '学修目標' diagram showing skill development from undergraduate to postgraduate levels.

修士 講究科目	修士 拡充科目	博士学府共通 科目	博士専攻科目	研究
修士 講究科目	修士 拡充科目	博士学府共通 科目	博士専攻科目	

			M1				M2				D1				D2				D3			
2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
電			電気電子工学読解Ⅰ				電気電子工学読解Ⅱ				高度技術外部実習(上級)				博士論文研究							
			システム情報科学実習				電気電子工学専攻特別講義科目(全16科目)				電気電子工学専攻特別講義科目(全16科目)				電気電子工学専攻特別講義科目(全16科目)							
			博士論文研究				電気電子工学研究調査				博士論文研究				電気電子工学特別演習							
			電気電子工学研究演示Ⅰ				電気電子工学研究演示Ⅱ				先導プロジェクト管理技法Ⅰ				先導プロジェクト管理技法Ⅱ							
											知的財産技法Ⅰ				知的財産技法Ⅱ							
											国際演習技法Ⅰ				国際演習技法Ⅱ							
電			電気電子工学特別講義				電気電子工学特別演習				電気電子工学特別講義											
			電気電子工学読解Ⅰ				電気電子工学読解Ⅱ				電気電子工学専攻特別講義科目(全16科目)				電気電子工学専攻特別講義科目(全16科目)							
電			博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究							
			電気電子工学設計Ⅱ				電気電子工学研究調査				電気電子工学研究演示Ⅰ				電気電子工学研究演示Ⅱ							
電			博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究							
			電気電子工学設計Ⅱ				電気電子工学研究調査				電気電子工学研究演示Ⅰ				電気電子工学研究演示Ⅱ							
			博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究							
			電気電子工学読解Ⅰ				電気電子工学読解Ⅱ				電気電子工学専攻特別講義科目(全16科目)				電気電子工学専攻特別講義科目(全16科目)							
電			博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究							
			LSIデバイス物理特論Ⅰ				LSIデバイス物理特論Ⅱ															
			ワイヤレス通信特論Ⅰ				ワイヤレス通信特論Ⅱ															
			実装工学科論Ⅰ				実装工学科論Ⅱ															
			博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究							
			電気電子工学研究調査				電気電子工学研究演示Ⅰ				電気電子工学研究演示Ⅱ				電気電子工学特別演習							
電			博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究							
			電気電子工学読解Ⅰ				電気電子工学読解Ⅱ				電気電子工学専攻特別講義科目(全16科目)				電気電子工学専攻特別講義科目(全16科目)							
			博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究				博士論文研究							
			電気電子工学読解Ⅰ				電気電子工学読解Ⅱ				電気電子工学専攻特別講義科目(全16科目)				電気電子工学専攻特別講義科目(全16科目)							

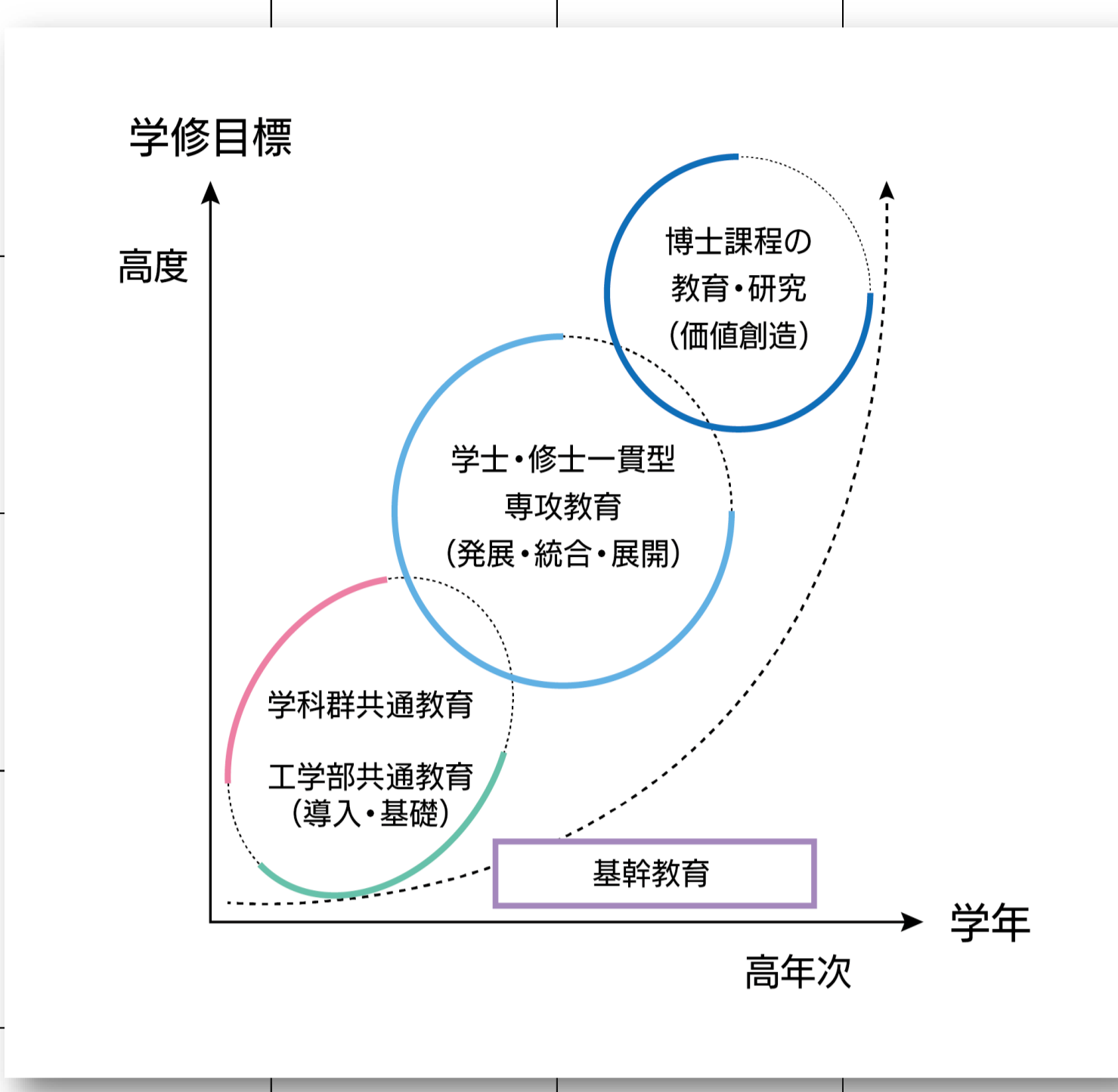
九州大学 | 工学部 | 電気情報工学科 電気電子工学コース
 | システム情報科学府 | 電気電子工学専攻 エネルギーデバイス・システムコース カリキュラム・マップ

凡例

科目区分
 (再掲は薄色表示)

基幹教育 必修	基幹教育 選択必修	工学部共通	学科群必修	学科群選択	学科必修	学科選択	コース 必修	コース 選択推奨	コース 選択	修士 コア科目	修士アドバンス 科目	修士 講究科目
基幹教育 必修	基幹教育 選択必修	工学部共通	学科群必修	学科群選択	学科必修	学科選択	コース 必修	コース 選択推奨	コース 選択	修士 コア科目	修士アドバンス 科目	修士 講究科目

Tuning	学士課程 (電気情報工学科 電気電子工学コース)				修士課程 (電気電子工学専攻 エネルギーデバイス・システムコース)				博士後期課程 (電気電子工学専攻)				1年生		2年生		3年生		4年生	
	工学部共通教育 (工学部で共通の学修目標)・基幹教育	学科共通教育 (学科内3コースで共通の学修目標)	学士・修士一貫型専攻教育 (学科(コース)・専攻(コース)ごとの特徴を表す学修目標)	学修目標	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
実践 Engineering & Practice	D-4. 技術的な事項に関する意見交換を技術者および非技術者と行うことができる。	D-4. 技術的な事項に関する意見交換を技術者および非技術者と行うことができる。	D-4. 多彩な人材と協働することで学際的な視点を持って、将来に向けて新たな社会価値を創り出すことができる。	D-4. 情報通信分野および電気電子システム分野において、高度な専門的知識からの発想力で複雑化する問題の解決に取り組み、多彩な人材と協働することで学際的な視点を持って、将来に向けて新たな社会価値を創り出すことができる。	文系ディシプリン科目							電気情報工学セミナーA	電気情報工学セミナーB	電気情報工学実習					電気情報工学卒業研究	
		D-3. 必要なデータの収集と解析を行い、適切な意思決定を行うことができる。	D-3-2. 国際的な場において、エネルギーデバイス・システムに関連する技術と原理についての確に説明することができる。	D-3. 各技術を実現し社会的に価値あるものにするために、論述、プレゼンテーションのスキル、プロジェクト管理、知的財産、国際的なコミュニケーション技術、ティーチング技術、および新しい技術を企画し実行する力を有する。														電気情報工学実験II	電気情報工学卒業研究	
		D-2. 工学上の問題を、解決に有用な理論や実践とそれらの限界を理解した上で解決することができる。																		
		D-1. 技術が社会に及ぼす影響を常に考慮し、社会に対する責任と倫理観を持つ。		D-1. 技術が社会に与える影響を理解し、安全な社会の実現に対する責任と倫理観を持ち、技術の発展へ自ら寄与しようとする意欲を持つ。																
評価・創造 Engineering & Design	C-2-2. 社会の課題解決に有用な電気情報工学分野技術の方向性を示唆することができる。	C-2-2. 社会の課題解決に有用な電気情報工学分野技術の方向性を示唆することができる。	C-2-2. データサイエンスやAI活用などの情報技術を工学的に応用し、価値あるエネルギーデバイス・システムの提案ができる。	C-2-2. 高度な機能をもつ革新的で先端的な電子デバイスや電気電子システム、計測制御システム、及びその利用技術を生み出す独創的な能力を有する。	電気情報工学入門		先端技術入門A	先端技術入門B	工学概論											
		C-2-1. 電気情報工学分野の装置やソフトウェアについて、指定された要求を満たす設計に自身の知識と理解を活用することができる。	C-2-1. エネルギーデバイス・システムの構築や運用に関連する問題を明確化し、解決に向けた研究を遂行することができる。	C-2-1. 研究動向やその社会での実用動向を評価して、解決すべき課題を発見することができる。								プログラミング演習II	プログラミング演習III						電気電子工学設計I	電気電子工学設計II
適用・分析 Engineering & Analysis	C-1-4. 実験あるいは数値実験を適切に設計して実施し、得られたデータを解釈して結論を導くことができる。	C-1-2. 超伝導・電磁システムや社会システムの最適設計技術、人工知能を活用した計測制御技術、電気エネルギーの発生・輸送・変換・貯蔵技術、などについて、データサイエンスを含めた理論および実験の両面から先端技術を駆使できる。	C-1-2. 超伝導・電磁システムや社会システムの最適設計技術、人工知能を活用した計測制御技術、電気エネルギーの発生・輸送・変換・貯蔵技術、などについて、データサイエンスを含めた理論および実験の両面から先端技術を駆使できる。	C-1-2. 電気電子材料のナノメートル領域での制御、およびそれらの先端デバイスへの応用、デバイス化のためのナノテクノロジー、情報通信システムの基本要素である電子デバイスの集積化技術、超伝導・電磁システムや社会システムの最適設計技術、人工知能を活用した計測制御技術、人工知能を活用した計測制御技術、電気エネルギーの発生・輸送・変換・貯蔵技術、などについて、データサイエンスを含めた理論および実験の両面から先端技術を駆使できる。								プログラミング演習II	プログラミング演習III	電気情報工学実験I	電気情報工学実験II					
		C-1-3. 電気情報工学分野における理論的、実験的、数値的解析とモデリングの方法を理解し実行することができる										プログラミング演習II	プログラミング演習III	電気情報工学実験I	電気情報工学実験II					
		C-1-2. 電気情報工学分野の装置やソフトウェアを解析し、その動作や原理を説明することができる。										電気情報工学基礎実験	電気情報工学実験I	電気情報工学実験II						
		C-1-1. 情報科学の基礎を理解し、様々なデータから有用な情報を導き出すことができる。										サイバーセキュリティ基礎論	プログラミング演習	データサイエンス序論						
知識・理解 Basic & Engineering Sciences		B-1-3. エネルギーデバイス・システムに関する広範で先端的な研究分野を体系的に理解している。		B-1-1. 電気電子システム、計測制御システム、電気エネルギー、パワーエレクトロニクス、電気電子材料物性、電子デバイス、集積システム、情報通信などのコアとなる先端知識を有する。																



Tuning	工学部共通教育（工学部で共通の学修目標） 基幹教育		学科群共通教育（学科群で共通の学修目標）		学士・修士一貫型専攻教育（学科・専攻ごとの特徴を表す学修目標）										1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q																													
																																																							1年生																2年生				3年生				4年生			
																																																							基盤																統合											
																																																							学修目標達成度調査 (その1)																											
																																																							アセスメント・プラン																											
																																																							学年																											
																																																							学士課程の時期区分																											
																																																							統合																											

情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目		情報デバイス・システム分野拡充科目			
広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目	広域科目		
確率・統計特論 I		確率・統計特論 II		修士論文研究																	
線形代数応用特論 I		線形代数応用特論 II																			
先端情報社会学特論																					
ICT社会基盤デザイン特論																					
システム情報科学実習																					
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
M1				M2				D1				D2				D3					
研究推進基礎				発展								統合									
学修目標の達成度評価 (その2)		学修目標達成度調査 (その3)		学修目標達成度調査 (その4) Curriculum Inventory評価								アドバイザー委員会において学修目標の達成度を評価する									